

平成29年度県外生協訪問見学学習会報告

◇日時 平成30年2月5日(月)から7日(水) 3日間

◇場所 福島県、宮城県内の生協店舗及び生産者並びに東日本大震災被災地

◇目的 本年度は東日本大震災被災地の今を伝えるため、“現地を見て知る機会”として福島・宮城県を訪問しました

◇参加者 12名

トヨタ2名、コープあいち2名、かりや愛知中央2名、南医療1名、トヨタ車体1名、東海コープ1名、愛知県職員1名、日本生協連組合員活動部1名(現地同伴)、連合会1名



行程

月日	地区名	時間	交通機関	摘要
2/5 (月)	福島県	11:33	やまびこ133号	J R 福島駅着
		11:45	専用バス	バス乗り換え (昼食)
		13:30		工場見学 (COおいしいご飯)
		15:20		施設訪問 (モリタングセンター)
		16:30		店舗見学 (コープふくしま)
		18:00		ホテルチェックイン
2/6 (火)	福島県	9:00	専用バス	ホテル→国道6号線沿岸部
				福島県内被災地訪問
				広野、富岡、大熊、双葉 浪江町 (途中バスにて昼食)
	宮城県	14:00		工場見学 (CO寄せ鍋セット)
		16:30		店舗見学 (みやぎ生協)
		17:30		ホテルチェックイン
2/7 (水)	宮城県	9:00		スーパーさいち
		9:45	専用バス	ニッカウイスキー宮城峡蒸溜所
		11:30		仙台城 (跡)
		12:30		昼食
		14:30	はやぶさ20	仙台駅出発⇒名古屋

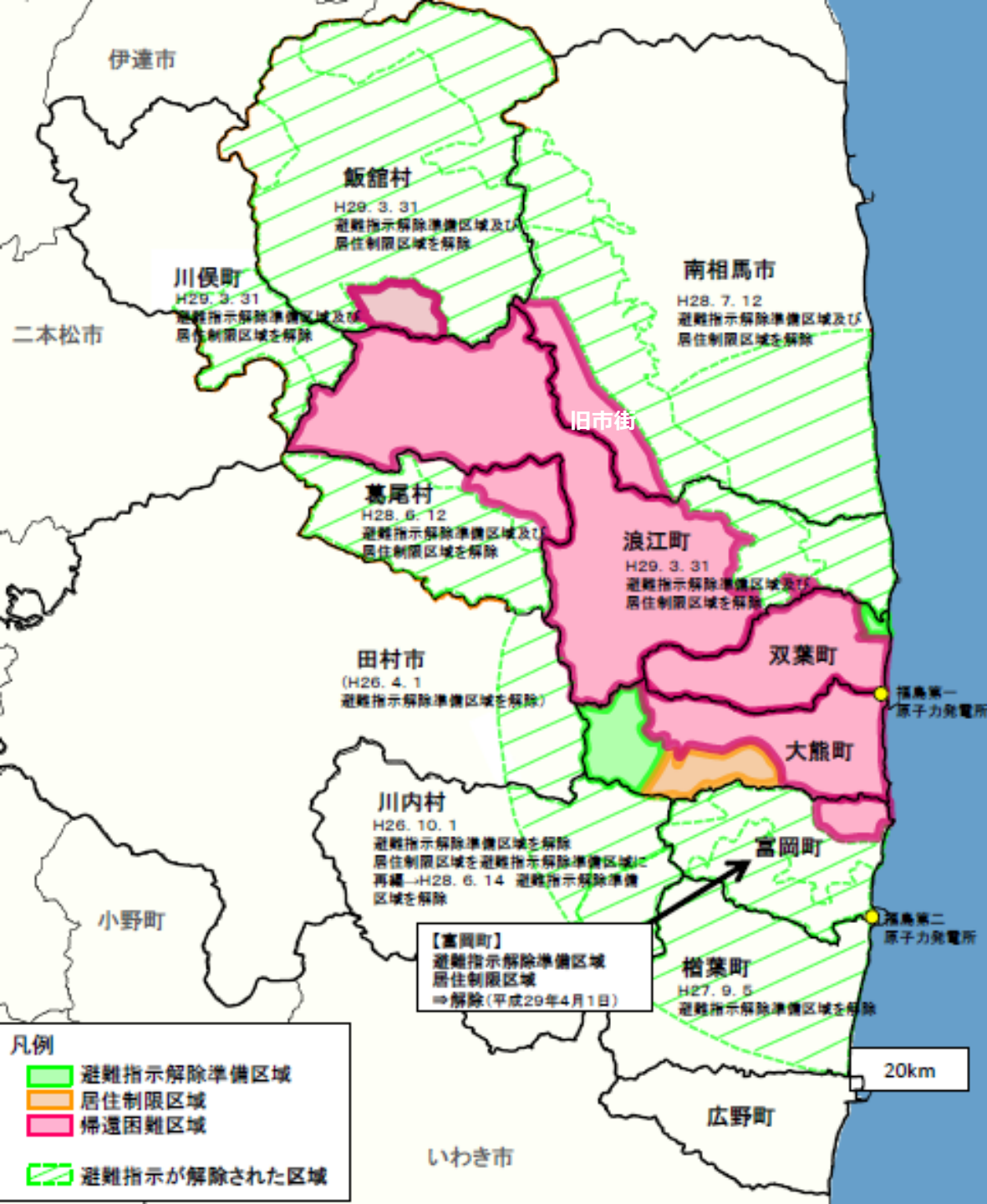
福島県の「COおいしいご飯」製造メーカーのフクシマフーズを訪れました。震災で工場が被災し、全てのライン復旧するまでに7カ月を要したとのこと。当日は工場を見学し、確かな品質管理を確認することができました。



JAふくしま未来・モニタリングセンター
地元農産物安全確認



コープふくしまの「いずみ店」を訪れました。当日は今野理事長にもご同席いただき、復興への確かな思いをお話しいただきました。



広野町から国道6号線を北上して富岡町の減容化施設と富岡駅を訪れました。富岡駅は昨年10月に、6年7カ月ぶりに運転が再開されたとのこと。まだ利用客はまばらとのことでしたが、着実に復興している様子を伺うことができました。その後帰還困難区域(富岡・大熊・双葉町)を北上し、南相馬市に入りました。バスの中で日本生協連の住吉様から福島県への住民帰還状況などについてお話を伺いました。避難指示が解除された今でも県内外への避難者は5万人以上とのこと。

減容化施設



富岡駅



帰還困難区域(海岸沿いの田畑跡)



帰還困難区域では、まだ国道から脇道や建物に入れない。



住民帰還状況などについてお話を伺いましたが、避難指示が解除された今でも県内外への避難者は5万人以上とのことです。

宮城県に入ると、農産のビニールハウスが見られました。



宮城県にある「CO寄せ鍋セット」製造メーカーの東北トクスイを訪れました。沿岸から100m程度の距離に立地するにもかかわらず、内海に面した小島が防潮堤の代わりになって被災を免れることができましたが、従業員が被災したことにより、工場稼働には大変なご苦労があったとのことでした。



宮城県の生協見学では、昨年秋にオープンしたみやぎ生協の新店「錦町店」を訪れました。生鮮品の買い回りがし易くレイアウトされ、地元生産品コーナーやデリカ関連の品ぞろえが豊富でした。



秋保温泉の地元スーパー「さいち」に立ち寄りしました。ここはおはぎが全国的に有名で、開店前から40人ほどの列ができていました




旧市街



ニッカウイスキー宮城峡蒸溜所を訪れ、日本のウイスキーづくりの歴史とこだわりの製法を学びました。





これからも被災地のさらなる復興を願い、会員生協と全国の生協、
連合会と連携し、被災地と被災者に寄り添い、継続的な支援活動を
すすめていきたいと思えます。

仙台城跡